

2020. 6. 1

# 歴史民俗資料館だより No.134

長崎市歴史民俗資料館

〒852-8117 長崎市平野町7番8号

TEL (095) 847-9245 (FAX 兼用)

<http://www.city.nagasaki.lg.jp/kanko/820000/828000/p009251.html>

## 戦時中のくらし展

**会期** 6月11日(木)～8月16日(日)

**展示品** 貨幣・紙幣・軍事郵便葉書・手製の教科書・大東亜戦争世界要図・旭日旗寄せ書き・防空頭巾・もんぺなど 約230点

昭和12(1937)年の日中戦争勃発以降、第2次世界大戦へと向かい、日本は、永い戦時体制へと突入していきました。

そして長崎は、昭和20(1945)年8月9日に原子爆弾が投下され、約24万人の市民の半数以上が死傷するという悲惨な被害を受けました。

その当時、人々は様々な統制を強いられ、「ほしがりません勝つまでは」と質素、節約のくらしをしなければなりません。日常生活に必要な物も手に入りやすく、代用品や代用食がさかんにつくられました。

現在の豊かな生活と対比し、平和の尊さを考える機会として、このたび当館では「戦時中のくらし展」を開催いたします。

今回の展示に際しまして、貴重な資料をご寄贈、ご提供いただきました多くの市民の皆様と関係者各位に深く御礼申し上げます。



### 手製の教科書

昭和20(1945)年に現物がなく、女学校の学生(13歳から14歳)が教師となり、小学6年生の教科書の挿絵を除き、1冊163頁全てを筆写したものです。



### 戦時郵便貯金切手

金貳圓 昭和18年

### 戦時貯蓄債券

金拾五圓 昭和19年

多額の戦費調達のために、政府は各種国債を発行しました。



### 大東亜戦争世界要図

独、伊、ソ、米、英各国の主要根拠地が記されています。そして、それらの国への日本軍の攻撃状況が記載されています。昭和17(1942)年頃のものです。



産着  
産着には、昭和15年に結ばれた日独伊三国同盟や戦争にちなんだ図柄が描かれています。



雑囊・水筒  
旧陸軍兵士の三十キログラム以上の装備の内の一部です。



紙芝居

踏切番と子供達 昭和 18 年

踏切番と国民学校の子供達を通して、戦意高揚をはかっています。



恩賜の煙草

戦場で兵士が天皇陛下からいただきました。「賜」の文字の箱の中に日本専売公社製で菊の御紋の付いた煙草 10 本が収められています。



千人針

出征する兵士の武運と無事を祈願して、1枚の晒し布に千人の女性に赤糸で一針ずつ縫ってもらいました。



防空頭巾ともんぺ

戦時中、空襲から頭部を保護するための防空頭巾と動きやすいもんぺは欠かせないものとなりました。



軍用手票

戦地、占領地で兵士が通貨の代用として使用した手形です。昭和 15 (1940) 年の 10 円札と昭和 19 (1944) 年の 100 円札です。



野生食用植物図説集  
昭和 17 年 (1942) 年、福岡県八女中学校鍋島與市教諭により、食用野生植物についての食べ方、薬効が説明されています。



半鐘  
昭和 16 (1941) 年に政府は、兵器生産のために、金属回収令を出して供出させました。この半鐘もそれに伴い、供出されたものです。